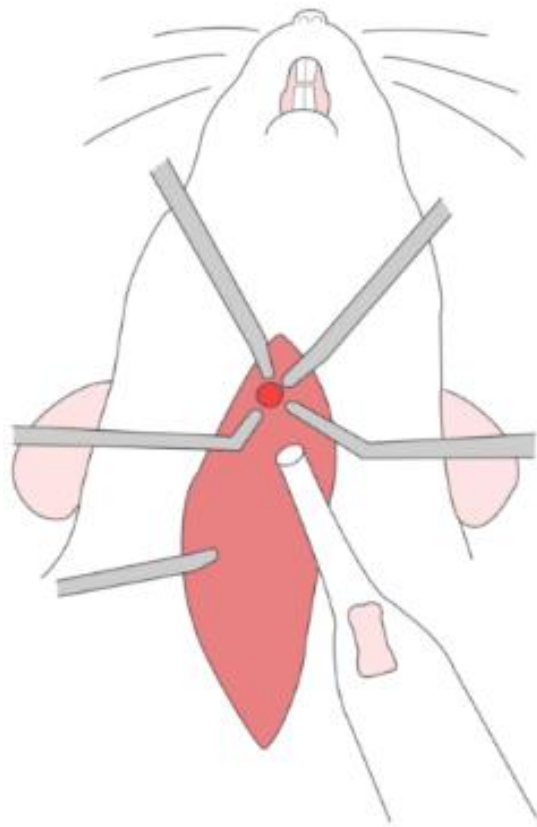


## 外科的処置動物 一覧

項目	手術 / 処置
各種臓器摘出モデル動物	下垂体摘出（ラット、マウス、モルモット） <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New</span>
	甲状腺摘出（ラット）
	胸腺摘出〔新生子〕（ラット、マウス）
	胸腺摘出〔3週齢以上〕（ラット）
	5/6腎臓摘出〔1ステップ法、2ステップ法〕（ラット、マウス）
	脾臓摘出（ラット、マウス） <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New</span>
	卵巣摘出〔3週齢以上〕（ラット、マウス）
	副腎摘出（ラット、マウス） <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">New</span>
カテーテル挿入動物	胆管カニューレーション（ラット）
	頸静脈カニューレーション（ラット）
	頸動脈カニューレーション（ラット）
特殊処置動物	冠状動静脈結紮心筋梗塞（ラット）
	迷走神経切断（ラット、マウス）
	精管結紮（ラット、マウス）

- 術後一週間程度の観察を実施した後に納入させていただきます。
- 他のブリーダーの系統もご対応いたします。
- 上記以外の処置については、ご相談ください。

# 下垂体摘出



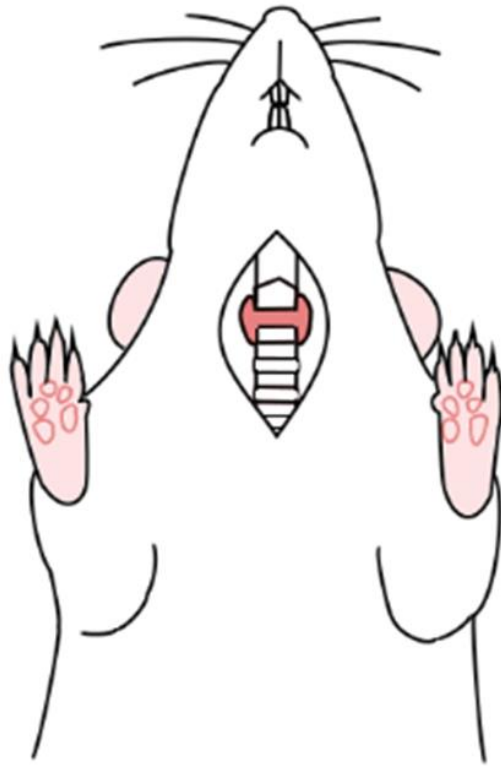
ラット  
マウス  
モルモット

当研究所では、周咽頭法による下垂体摘出を行っています

ラットは21日齢からの処置が可能です  
(マウスは体重40g以上、モルモットは8週齢以降となります)

1回のロット数（1日の処置数）は、10匹です

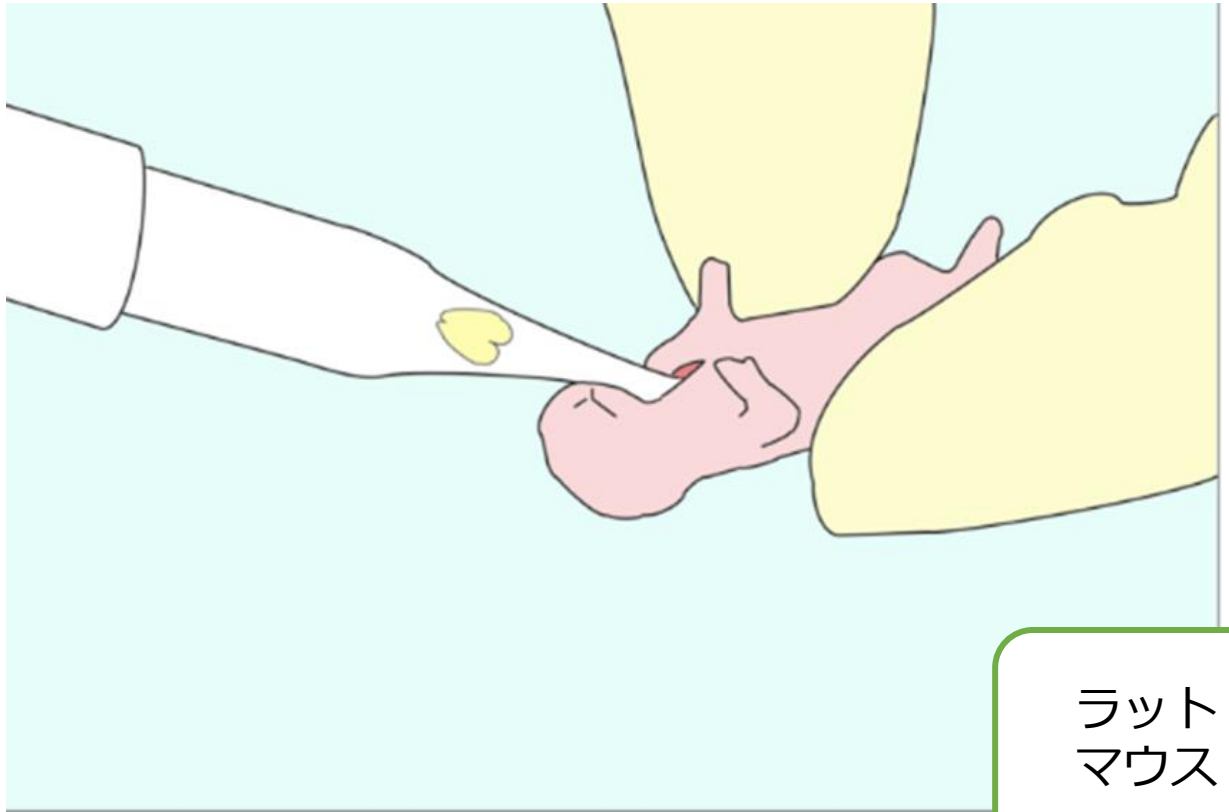
# 甲状腺摘出



ラット

ラット、マウスともに21日齢からの処置が可能です

## 胸腺摘出（新生子）



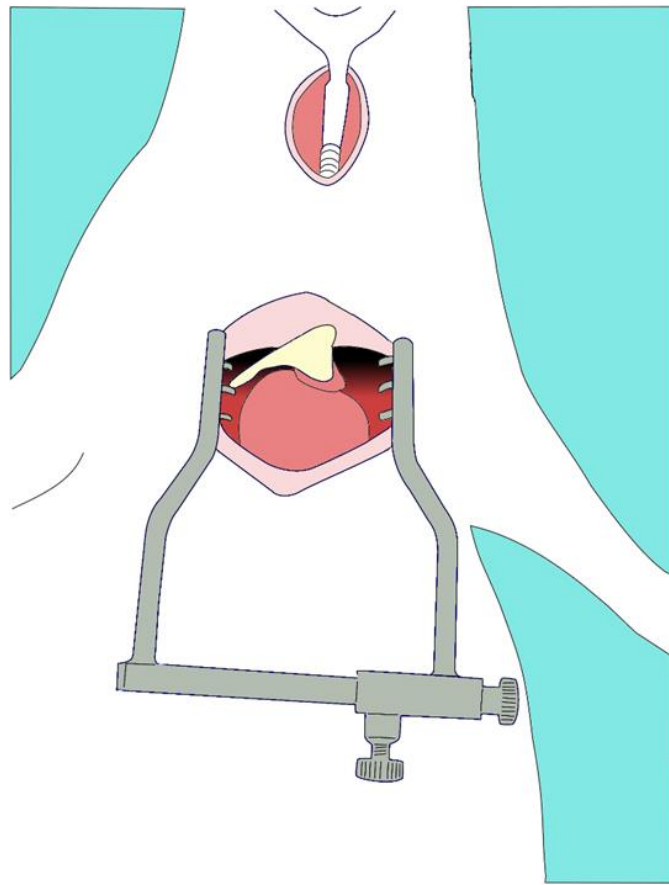
ラット  
マウス

ラット、マウスともに生後0から7日齢まで処置が可能です

低温麻酔を施し、胸腺を吸引します

離乳後の供給となります

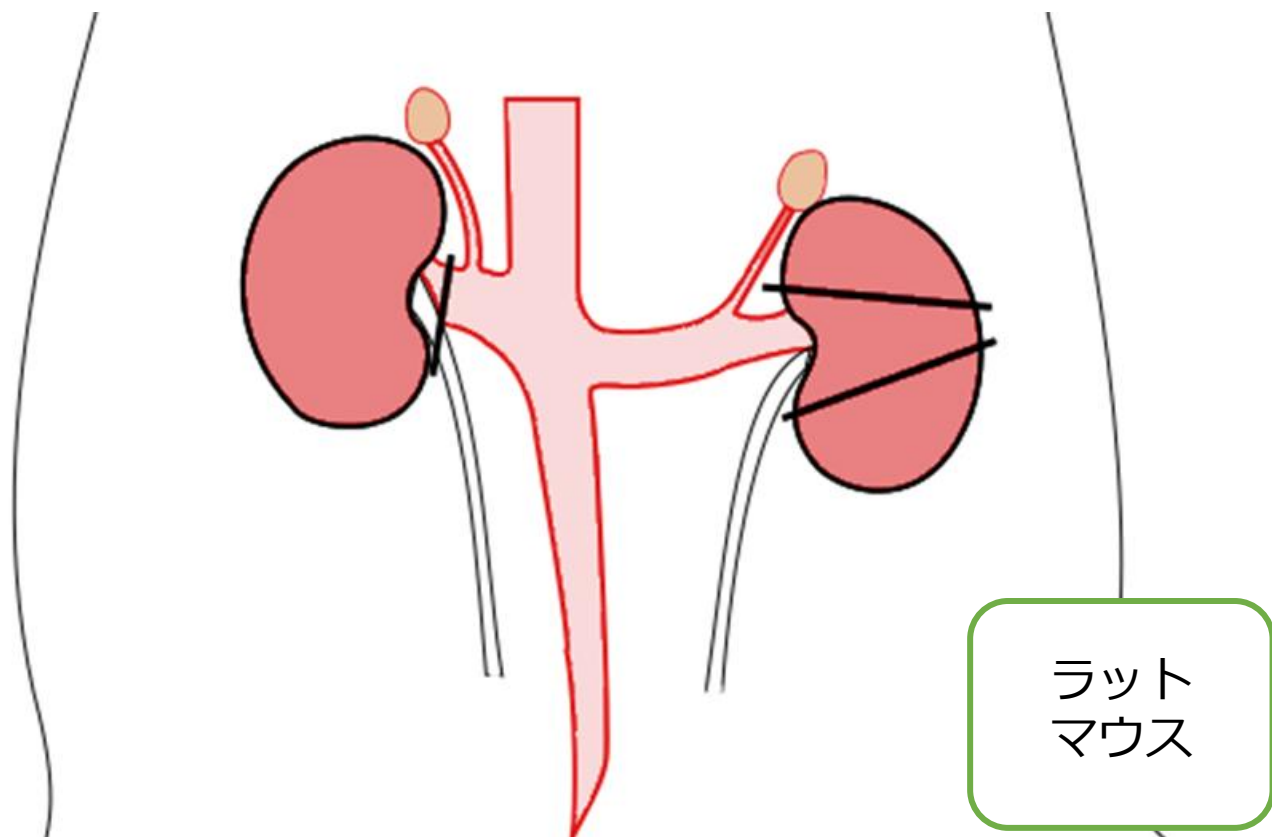
## 胸腺摘出（3週齢以上）



ラット

人工呼吸器を装着後に開胸し、胸腺を摘出します

## 5/6腎臓摘出 [1ステップ法、2ステップ法]



1ステップ法：1回の手術で両側の腎臓を処置する方法です

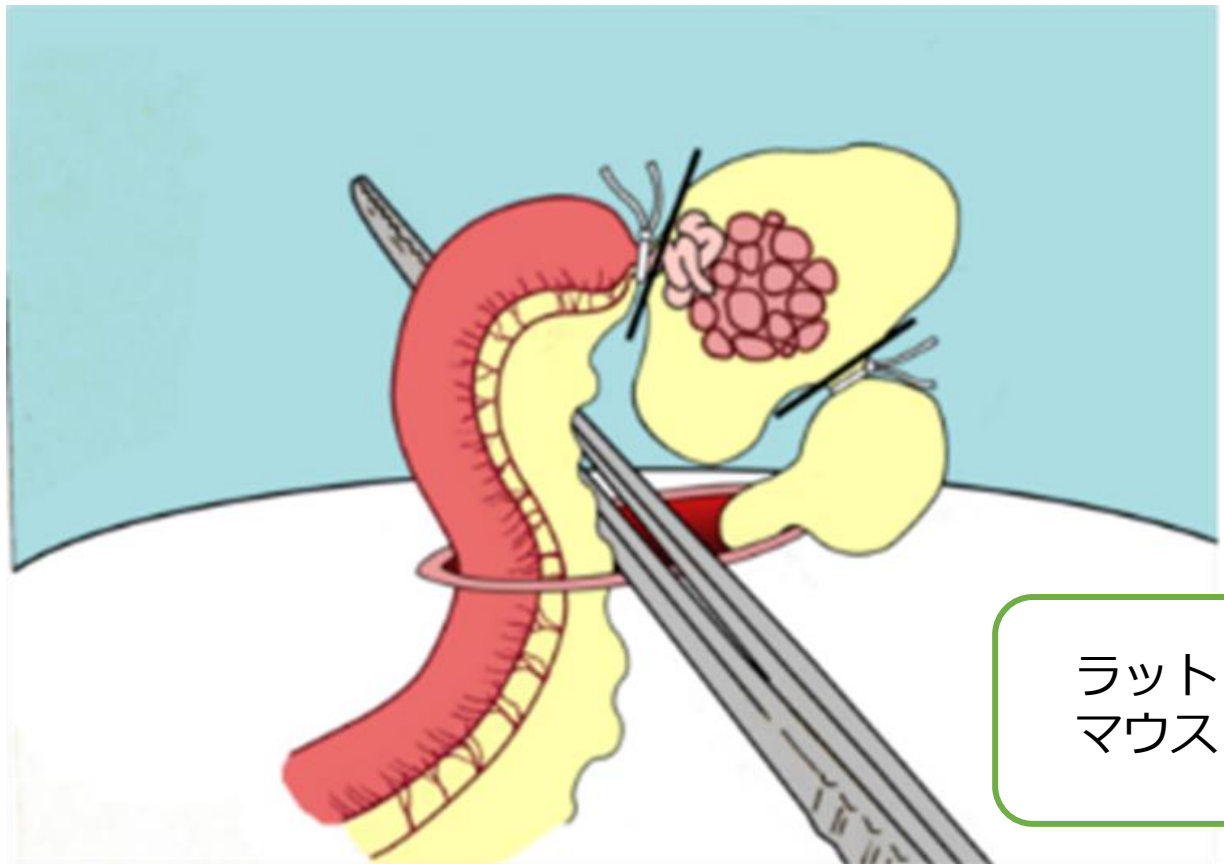
2ステップ法：左腎臓の2/3を摘出し、翌週、右側の腎臓を全摘出する方法です

ラット、マウスともに6週齢から可能です

1週間の術後管理の後、供給可能となります

1回のロット数（1日の処置数）は、40匹です

## 卵巣摘出 [3週齢以上]



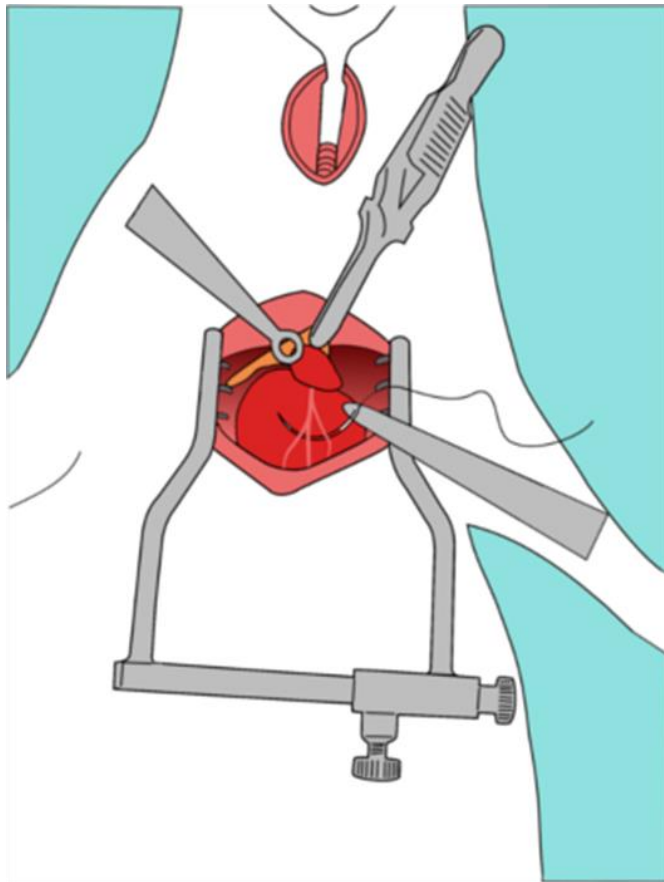
ラット  
マウス

ラット、マウスともに21日齢から可能です

側腹部より腎臓の位置を確認後、左右それぞれを切開し、子宮と卵管の間を絹糸で結紮して子宮を傷つけないよう、卵巣を摘出しています

1回のロット数は、ラットが60匹、マウスが100匹です

## 冠状動脈結紮心筋梗塞



ラット

人口呼吸器を装着して胸部を切開し、心臓冠状動静脈を絹糸で結紮して作製します

処置は7週齢（ラット）から可能です

1回のロット数は、15匹です